

萩市医師会報

No. 626 2026.4

「桜」萩市
撮影 K.W.

5 月 例 会
5月29日(金) 午後7時
於 医療支援センター

3月定例理事会報告

令和8年3月11日(水)

一 医 師 会

1 会長報告 山本会長

救急車へのEKG等の医療情報伝送システムモデル事業について

山口県モデル事業の三つのフェーズ

- 1) 観察検証期間：8月をめぐり
- 2) モデル事業期間2026.9～2027.3
- 3) 運用期間2027.4～終了まで

2 4月診療報酬請求書の移送日について

佐久間理事

国保・社保 4月10日(金) PM2:00まで

3 4月定例理事会、例会の日程について

佐久間理事

定例理事会 4月8日(水) PM7:00～

例 会 4月24日(金) PM7:00～

場 所 萩地域医療連携支援センター

4 令和7年度都市医師会地域包括ケア担当理事会議報告 佐久間理事

日時 2月12日(木) 於 山口県医師会

1. 在宅医療の推進について（県医療政策課）
 - 1) 在宅医療の需要と供給
訪問診療患者及び在宅看取りは、大きく増加するが医療機関は横ばい。
 - 2) 基本的な考え方

3) 第1回山口県在宅医療セミナー

第2回山口県在宅医療セミナー

4) 地域ごとの体制構築（在宅医療提供体制充実支援事業）
全8医療圏（二次医療圏）

5) 在宅医療の圏域及び在宅医療に必要な連携を担う拠点

2. 在宅医療・介護連携の推進について

（県長寿社会課）

3. 心肺蘇生を望まない傷病者への対応
（県救急業務高度化推進協議会会長 鶴田教授）

4. 質問・意見・要望について

5. その他

5 2月分会計収支の承認について

米城理事

会計収支表のとおり承認

二 萩看護学院

1 令和8年度生入学式について 川上理事

日 時 4月2日(木) PM2:00

場 所 萩地域医療連携支援センター

2 2月分会計収支の承認について

米城理事

会計収支表のとおり承認

4月定例理事会報告

令和8年4月8日(水)

一 医 師 会

1 会長報告 山本会長

感染症カンファレンスの日程について
8月8日(土)

2 5月診療報酬請求書の移送日について

佐久間理事

国保・社保 5月8日(金) PM2:00まで

3 5月定例理事会、例会の日程について

佐久間理事

定例理事会 5月13日(水) PM7:00～
例 会 5月29日(金) PM7:00～
場 所 萩地域医療連携支援センター

4 令和8年度定時総会の日程について

佐久間理事

6月20日(土) PM3:00～

5 会員の動向について

【4月1日付け入会】

なかたに よしひろ 会員 萩市見島診療所
中谷 義弘
おかもと なおき 会員 萩市大島診療所
岡本 尚樹
つつい もとあき 会員 萩市福川診療所
筒井 基晃
(卒後5年以内)

【4月1日付け退会】

濱永友花里 会員 (都志見病院)
山大附属病院
吉田 悠真 会員 (萩市見島診療所)
周東病院
雨宮 範幸 会員 (萩市福川診療所)

【4月1日付け異動】

江副 一花 会員 あぶ診療所へ

6 令和7年度郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事会議報告資料1 前川副会長

日時 3月12日(木) 於 山口県医師会

1. 中国四国医師会連合「医事紛争研究会」報告

- 1) 医師への脅迫・SNS誹謗中傷等への対応
- 2) 医療機関の防犯カメラの使用について

3) 医療事故再発防止に向けた提言書の活用

2. 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡会議報告

- 1) 日本医師会医師賠償責任保険の運営に関する経過報告
- 2) 講演「採血時の神経損傷」
横浜労災病院 三上容司先生

3. 令和7年度山口県医師会受付事故報告

4. 令和7年度受付窓口相談事例について

5. 事例研究資料について

6. 郡市医師会からの質問への回答

- 1) 一次救急対応医療機関で激昂する患者さんへの対応
- 2) 療担規則を超えた診療を繰り返す医師への損害賠償請求

7. その他

・令和8年度の医事案件調査専門委員会の開催予定日等

7 令和8年度の職員昇給について

佐久間理事

規則通りの算出で承認

8 3月分会計収支の承認について

米城理事

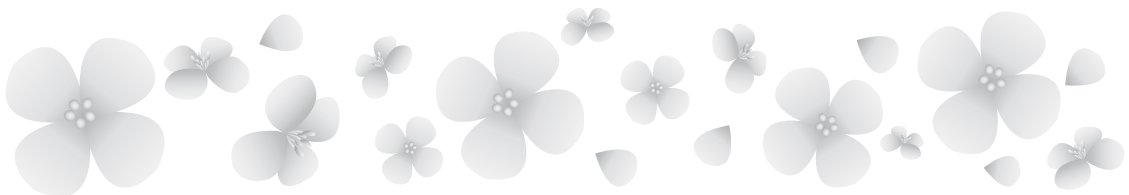
会計収支表のとおり承認

二 萩准看護学院

1 3月分会計収支の承認について

米城理事

会計収支表のとおり承認



令和7年度 萩准看護学院卒業式

令和8年 3月6日(金)



送 辞

在校生代表 藤本 彩那

厳しかった寒さも少しずつ和らぎ、草木の芽吹きに春の訪れを感じる今日のよき日に、萩准看護学院第71回卒業式を迎えられました17名の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。



在校生一同、心よりお慶び申し上げます。

この日を迎えられた皆様は今、2年間の学院生活の様々な思い出を振り返っておられることと思います。そして、この日まで勉強と仕事の両立に追われ、慌ただしい日々を送ってこれたのではないのでしょうか。

皆様との出会いは、1年前に不安と緊張を抱き迎えた入学式でした。

その後の歓迎会で、絵しりとりゲームなどを通して緊張が和らぎ学院生活への期待が生まれたことを覚えています。

また、戴帽式では、先輩方に一步近づけたような感覚があり、看護学生であるという自覚が芽生え、目指す看護師像についてより深く考えるようになりました。

その後の交流会においては医療用語船舶バレーや会話の場を設けてくださり、基礎実習や勉強のアドバイス、励ましのお言葉などを頂き、終始和やかな中にも、多くの学びに満ちた時間を過ごすことが出来ました。

私たちは、1月より初めての基礎看護実習に出ました。不安と緊張の中、自分自身の手技の未熟さ、観察の怠りを痛感した実習でしたが、それ以上に多くの事を学ぶことが出来ました。検査の見学の際、看護師さんが患者さんの肩を優しく摩り、「力を抜いてリラックスしましょう。」、また検査終了後には「きつかったですね。お疲れさまでした。」と言葉をかけて患者さんの気持ち、立場に寄り添っておられ、患者さんは疲れた顔から笑顔になられていました。そして、前処置から検査後まで観察を行い意識レベルや説明の理解度を把握しておられました。観察、言葉かけ、タッチングの大切さを改めて学んだ実習でした。多職種との関わりでは、情報や意見の交換を行い、それぞれが患者さんを中心に退院後の生活のことまで考えておられました。また、看護師さんからは、「患者さんの生活

を支える、寄り添うことを大切にする看護師になってほしい。」というお言葉も頂き、看護は退院された後も、患者さんが生活する家の環境やサポート体制なども視野に入れ考えることが重要だと気づかされました。

2年間の勉学と実習を経験し多くの学びを積まれた皆様は自己の看護観を確立されたことと思います。卒業後は進学される方、医療機関に就職される方など、それぞれ異なる道を歩まれることと思います。その道はこれまで以上に険しく、厳しい場面に立ち向かわれることもあるかと思いますが、皆様が学院で培ってこられた知識や技術は、皆様を支える力となる事と思います。私たち在校生も、先輩方の背中を追いながら、准看護師の資格を習得し就職、あるいは進学を目指して一層努力してまいります。

最後に皆様のご健康と今後のご活躍を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

答 辞

卒業生代表 松田 和将

寒さの厳しかった冬も終わりを告げ、春の訪れを感じる今日、私たち17名のためにこのような卒業式を挙行していただき誠にありがとうございます。また学院長先生より、ご祝辞お言葉を、在校生より心温まる送辞をいただき卒業生一同心より感謝申し上げます。



入学後、今日に至るまでの2年間は、一瞬のようでもあり、また長い時間だったようにも感じます。これから准看護師となる私たちにとって、とても貴重な意義のある時間を重ねてきたと思います。

私たちは2年前、大きな期待と不安を胸に入学しました。入学当初は、仕事との両立の難しさ、また、初めて触れる専門用語や、学ぶことの多さに戸惑いました。看護技術の演習では、クラスの仲間と何度も練習を重ね、一つひとつ技術を習得していきました。その

ような中でも年齢や生活背景もさまざまでしたが、准看護師を志す者同士、分け隔てなく接し、支え合いながら過ごしてまいりました。



戴帽式では、厳かな雰囲気の中、それぞれ目標の看護師像を胸に抱きナイチンゲール誓詞を斉唱し、決意を新たにしました。それと共に、看護という職業を目指す者としての責任の重さを実感し、身の引き締まる思いでした。

臨地実習が始まり、看護の現場を目の当たりにし、看護の実際を知ることができた一方で、自分の知識や技術の未熟さを実感し、緊張や不安が強まりました。患者様に行う援助を提供する際も、学院で練習してきた物品と違うことや同じ疾患でも患者様お一人おひとり状態が違うため、患者様に合った援助の方法を考えることの難しさを痛感しました。また、コミュニケーションの面でも患者様に対してどのような言葉かけをすれば良いのか分からず、援助やコミュニケーション共にうまくいかず、不安が大きくなりなり自信がなくなることもありました。そんな中、患者様の「ありがとう。」「頑張ってるね。」という言葉や笑顔に何度も励まされ、力をいただき、最後まで実習を頑張ろうと気持ちを新たにすることができました。多くの失敗を重ねましたが、指導者の方からの指導のもとに患者様に援助やコミュニケーションを行って来ました。そのような中、患者様が退院される際に、「気遣いがよかった。」「いい看護師になれる。」と笑顔で言われた際はとてもうれしく思いました。

近年、新型コロナウイルスなどの感染症や地震など大きな自然災害なども発生しています。このような状況の中、より一層看護が重要になると思います。私たちが看護職として何ができるのか考え、どのような時でも一人でも多くの人々の助けになれるよう、向上心

を持ち自己研鑽を続け、看護についての学びを深めていきたいと思います。

在校生の皆さんは、これから実習や試験と忙しい日々を送ることになると思います。上手くいかず悩みを抱えたり困難なことが多くあるかもしれません。そのような時は、一人で背負わず学院の先生方や指導者の方々に相談してみてください。そして、「准看護師になる」という思いを忘れず、共に学ぶ仲間と支え合いながら前に進んでいってください。

私たちは多くの方々に支えられ、充実した2年間を過ごし、今日という日を迎えることができました。不慣れな援助を快く引き受け学ぶ機会を与えて下さった患者様、未熟な私たちを辛抱強く見守り指導して下さった実習施設の皆様、時に厳しく時に温かく導いて下さった先生方、互いに刺激しあい励まし合った仲間たち、そして私たちの志を尊重し

精一杯応援してくれた家族。私たちを温かく見守ってくださったすべての方々に心から感謝申し上げます。

私たちは今後、進学や就職と進む道は異なりますが、2年間の学びや思い出を胸に新たな一歩を踏み出します。この学院の卒業生である誇りを胸に多くの方々の期待と信頼にこたえてゆけるよう日々努力を重ねていくことを固く誓い、答辞とさせていただきます。



令和8年度

萩准看護学院入学式

令和8年4月2日(木)



歓迎の言葉

在校生代表 藤本 悠那



花の香り漂う今日の佳き日、新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

春の訪れとともに新たな一歩を踏み出された皆様を、在学生一同心よりお祝い申し上げます。

皆様は今、新しい学院生活への期待とともに不安も感じておられるのではないのでしょうか。授業についていけるのか、実習ではどのようなことを学ぶのかなど、さまざまな思いを抱いておられると思います。私も入学した当初は、慣れない環境の中で戸惑うことも多く、不安を感じていました。しかし、先生方のご指導や仲間の支えの中で学びを重ねていくうちに、少しずつ学院生活にも慣れ、看護を学ぶことの大切さや面白さを感じられるようになりました。

看護の学びは、授業だけでなく実習や患者様との関わりを通してさらに深まっていきます。私自身も実習の中で患者様と関わる機会が多くありました。初めのころは、患者様が話しかけてくださっても、会話が続きうまくコミュニケーションがとれませんでした。そこで、どのようにすれば会話を続けることができるのかを考えるようになりました。患者様のお話に耳を傾け、その内容から話題を広げることや、これまでに伺ったご家族のお話などを思い出しながらコミュニケーションをとっていくことを心がけました。時には自分の経験を少しお伝えすることもありましたが、あくまでも患者様のお話が中心となるよう意識しながら関わるようにしました。実際の出来事としては、テレビで料理番組が流れていた際、以前ご家族が多いと話しておられたことを思い出し、「お料理することは好きですか」とお聞きしたところ、初めは表情の乏しかった患者様が、これまでの子育てのことなどを笑顔で楽しそうに話してください

ました。その笑顔を見たとき、言葉を交わすことの大切さを知り、人と人との関わりの中で看護が成り



立っていることを実感しました。この経験は、私にとって看護を学ぶ上でとても印象に残る出来事となりました。そして患者様お一人おひとりと向き合い、その思いに寄り添うことの大切さを改めて感じることができました。また、看護の学びは決して一人で進めていくものではありません。学内演習では、仲間と協力しながら看護技術を学ぶ機会が多くあります。複数人で看護技術を行う際には、声を掛け合いながら役割を確認し、互いに連携することの必要性も学びました。演習を通して仲間との関わりも深まり、互いに支え合いながら学んでいくことで看護の道を目指す者同士の一体感も生まれてきます。そして同じ目標を持つ仲間がいることは、学びを続けていくうえで大きな力になります。

これからの学院生活の中では、楽しいことだけではなく、悩んだり迷ったりすることもあると思います。しかし、その一つひとつの経験が、看護を志す者として成長していくための大切な学びにつながっていきます。仲間と共に励まし合いながら、一歩ずつ前に進んでいってください。

新入生の皆さんが、これから多くの学びを重ね、仲間とともに充実した学院生活を送られることでしょうか。この学院での学びが、皆さんにとっての大きな成長につながると思います。そして、同じく看護を学ぶ仲間として、皆さんとともに学べる日々を在学生一同楽しみにしております。

改めまして、新入生の皆様のご入学を心よりお祝い申し上げ、歓迎の言葉といたします。

編集後記

すっかり春になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。寒暖の差が激しい季節です。体調管理には気を付けていきましょう。そして毎年のように長くて、暑い夏がやってきます。無理ない範囲で熱中症対策に有効な暑熱順化を行い、夏を乗り切るようにしましょう。（S.N.）

あひる会ゴルフコンペ

開催日／令和8年2月23日(月・祝)
場 所／山口レインボーヒルズ 泉水原ゴルフクラブ

優勝 井上 信義

OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
49	48	97	26.0	71.0

準優勝 横尾 吏 5位 柳井 章孝
3位 伊藤 研二 6位 中嶋 薫
4位 川上 俊文



開催日／令和8年3月20日(金・祝) 場 所／萩・石見カントリー倶楽部

優勝 井上 信義

OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
52	48	100	20.0	80.0

準優勝 岡野 雅治 5位 川上 俊文
3位 柳井 章孝 6位 売豆紀雅昭
4位 横尾 吏 7位 中村 佳弘

小児感染症情報

2/2(月)～3/29(日)

疾患名	2/2 ～2/8	2/9 ～2/15	2/16 ～2/22	2/23 ～3/1	3/2 ～3/8	3/9 ～3/16	3/17 ～3/22	3/23 ～3/29
インフルエンザ (A・B)	85	96	90	44	35	51	51	33
新型コロナ感染症	3	3	3	3	6	3	1	4
RSウイルス感染症						3	10	3
咽頭結膜熱					2			
溶連菌感染症	5	2	4	3	2	2	3	1
感染性胃腸炎	10	13	17	21	19	29	25	16
水痘								
手足口病								
伝染性紅斑								
突発性発しん	1		1					1
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎								
マイコプラズマ感染症			1					

報告者：いわたにこどもクリニック 院長 岩谷 一

救急月報 (令和8年2～3月分)

萩市消防本部

区 分		救 急 事 故 種 別											合 計
		火 災	自然災害	水難事故	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他	
2月分	出動件数	0	0	0	6	1	1	41	0	0	159	40	248
	搬送人員	0	0	0	5	1	1	39	0	0	147	39	232
3月分	出動件数	0	0	1	8	2	0	50	0	2	172	41	276
	搬送人員	0	0	1	8	2	0	47	0	2	161	39	260

萩市医師会報 No.626

2026年4月24日発行

編集 広報委員会
発行人 萩市医師会
印刷所 (有) マシヤマ印刷